

平成 21 年 3 月 2 日

プロセス・トライボロジー分科会委員各位

主査 土屋 能成

### プロセス・トライボロジー分科会第122回研究会のご案内

貴社益々御盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より当分科会事業に御理解ならびに御協力頂きありがとうございます。さて、第122回の研究会を下記の予定で開催します。「潤滑の物理化学」となっております。御参加頂けますようご案内申し上げます。

(委員の代理の方の参加も可能です。委員(代理)以外の方のオブザーバー参加(参加費¥3,000)も受け付けます。)

日 時：平成21年3月25日(水) 13:30~16:30

会 場：湘南工科大学 本館H404号室

(〒251-8511 藤沢市辻堂西海岸1-1-25 電話：0466-30-0162)

交 通：JR辻堂駅から

徒歩：約15分。南口藤沢寄り階段を下り、左方向(藤沢方面)へ約250メートル進む。そのまま道なりに約 250メートル進み、程島商店前で県道に合流、約10分歩き、浜見山交差点を直進して更に200メートル先

バス：浜見山(乗車時間：約5分、下車後徒歩2分、片道170円)

南口1番のりば：「鶴沼車庫」，「鎌倉駅」行き

南口2番のりば：「鶴沼車庫前」，「藤沢駅北口」行き

南口3番のりば：「辻堂団地」，「辻堂駅」，「茅ヶ崎駅南口」行き

詳細は湘南工科大学ホームページ (<http://www.shonan-it.ac.jp/contents/>) でご確認下さい。

#### 第122回研究会：

- (1) 主査挨拶 (13:30~13:35)
- (2) 大学の紹介および村木研究室見学
- (3) 話題提供 (14:30~16:30) (質疑各5分程度含む)

14:30~15:10 「マクロトライボ特性とAFMによるトライボ膜の観察」 湘南工科大学 村木正芳 君  
摩耗防止剤として多用される ZDDP の摩擦-速度特性をテストリグで調べた後、表面分析によりトライボ膜の組成分析と、AFM によるトライボ膜の表面形状、電流像の分布を観察した。

15:10~15:50 「衝突試験による超高压下の潤滑油膜の摩擦力の測定」 湘南工科大学院生 大川修一 君  
トラクションドライブや各種サポートベアリングでの潤滑油膜には、瞬間的に1~4GPa程度の圧力が作用する。このような高压下の油膜のせん断力を測定するための試験機を試作し、エンジン油に用いられる合成炭化水素とトラクション油に用いられる合成ナフテンを対象にせん断力の測定を行った。

15:50~16:30 「薄膜潤滑下のポリマー添加油のせん断挙動」 湘南工科大学院生 中村健太 君  
粘度指数向上剤として多用されるポリアルキルメタクリレート (PAMA) 添加油のトラクションをテストリグで測定した。その結果、接触部においてPAMAが支配的になり、流動分子同士や吸着分子から流動分子への分子間相互作用によって、トラクション挙動にPAMAのアルキル基の構造の影響が現れることがわかった。

- (4) 主査閉会挨拶 (16:30~16:35)

---

申込先：ryo@me.es.osaka-u.ac.jp, Fax: 06-6850-6199（できる限り、e-mailでお願いいたします。）

（1）御氏名，（2）御所属，もし連絡先（住所，電話，ファックス，e-mail等）が変更されていたら，お知らせ下さい。）

申込締切：3月18日（水）17:00